

ウィッグの仕様

医療用のウィッグにはメーカーによっていろいろな細かい工夫(仕様)が施されています。これらの仕様をよく理解してウィッグ選びの参考にしてください。

④分け目
分け目部分には人工皮膚がついている商品もあります。

①毛質の種類
(人工毛・人毛・ミックス)

②髪の色
何種類か用意しています。
(人毛は毛染めもOK)

③スタイル
人工毛ウィッグはスタイル変更が難しいのでいろいろなスタイルを用意しています。人毛ウィッグはご自身で自由にスタイル変更可能です。

⑤防臭
ネットやウィッグ全体に抗菌・防臭処理しているものがあります。

⑥通気性
裏地ネットによって通気性が異なります。

⑦ズレ防止
両面テープを貼れたり、すり上がらないようストッパー付きタイプもあります。

⑧伸縮素材
毛髪の量の増減に対応できるようにネットに伸縮素材を使用していることが多いです。

(表)

人工皮膚がなくベースネットのみ

ウレタン人工皮膚。通気性が劣るが自然な印象

より自然な通気性のある人工皮膚

(裏)

⑨アジャスター
アジャスターにより髪の増減による頭囲サイズの増減に対応しています。

記事担当:ナチュラル

購入時の チェックポイント①

ウィッグ利用者が選んだ 購入時のチェックポイント

- 大きく分けて3つあります。第一に「品質」、次に「価格」、そして「購入店舗」と、ポイント別にさらに詳しく見ていきましょう。

品質

1年から1年半もの間、ウィッグを着用するようになるので、品質が満足できるものでないと、外出する気分にもなりにくいものです。

【見た目の自然さ】

まずは、「見た目の自然さ」が最重要です。裏地に人工皮膚がついていると、生え際や分け目部分がより自然に見えます。また、自分により似合うものを見つけるためには、ウィッグをアレンジ(カット・カラー・パーマ)して、希望するスタイルを再現できるかチェックしましょう。

【つけ心地のよさ】

しめつけがきつくて頭が痛くなったり、ネットやウィッグの髪が肌に当たってチクチクしたりする事があるので、裏地をよく見ましょう。また、裏地にアジャスターがついているとサイズ調整が可能です。

【手入れがしやすいか】

専用シャンプーなどを使わなくても、ご自身で簡単に洗えるのか、ドライヤーは使えるのか、スタイリングは楽にできるか確認しましょう。

【サイズ調整ができるか】

治療前後で自毛の量が変化するので、サイズ調整が自由にできるかもチェックしましょう。自分でできなくても、店舗に持っていけば対応してくれるか確認しましょう。

【耐久性のよさ】

ウィッグはライフスタイルにもよりますが、ほぼ毎日つけるものです。毛質の素材によって異なりますが、丈夫で長持ちするように耐久性のよさも確認しましょう。

記事担当:ウィッグマッププロジェクト